

第8回 戸沢村・庄内町地域連携フォーラム

～地域高規格道路「新庄酒田」

安全・安心・快適な地域づくりと交

世界中のシェフが自分の周りの店にはない特別な野菜を探しています。

「角川かぶ」が縁 本当の魅力発信

私が野菜にのめり込んだのは、日本古来の焼き畑農法を知り、伝統野菜に関わるようになったからです。環境破壊とは真逆の、土も森も再生されるサステイナブル、持続

「カブだけじゃないね。山菜も栗もキノコもヤマブドウも、パプリカだって。幻想の森(樹齢1000年といわれる巨大古木の杉の群生地)は実に神秘的だ」

「角川かぶ」が縁 本当の魅力発信

東京・築地開市から高級果物を販売してきた西岩商事で野菜部門を立ち上げ、現在は豊洲市場に移り、日本中から集まってくる野菜を都内にもちろん香港、マカオ、シンガポール、ドバイなど海外のホテル・レストランに納めています。



山葡萄ツアーになり、冬は雪の下から野菜を掘り、かんじきでトレッキング。今や天然のヤマブドウが東京ワイナリーで恵みのワインに生まれ変わり、豪雪地らしく巨大なまくらの中で郷土料理と一緒に楽しむスペシャルパーティーです。

意見発表①

「集客における道路整備の重要性」

戸沢村農産物特産化アドバイザー 西岩商事株式会社 野菜部代表 塩田勝良氏

山形河川国道事務所 本年度予算は前年度(当初比)からほぼ横ばいで、道路事業費維持・修繕などを除くは約24.8億円となっています。管内の道路改築事業は東北中央自動車道・東根尾花沢(23キ)などの縦軸と、地域高規格道路「新庄酒田道路」のうち国道

好循環の道づくり 整備効果どう活用

津谷古口間が開通し、災害時の通行路確保、救急施設へのアクセス向上などが期待され、現在の事業進捗率は約55%という状況です。一方、高屋道路は

意見発表②

「教育旅行を活用した交流人口拡大の可能性」

NPO法人田舎体験塾「かわの里」事務局 戸沢村観光物産協会理事 沼澤吉己氏



定、山形県環境学習支援団体の認定などを経て、06年、宮城県東松島市の中学生182人を皮切りに教育旅行の受け入れを始めました。

私たちの団体は教育旅行の受け入れ事業を核とした田舎体験塾を運営し、新たな里づくりに向けて活動しています。団体事務局がある角川地域は1000級級の月山前連山を源流とし、豊かな里山の恵みと農村の生活文化を受け継ぎながら人々の暮らしが営まれています。先人の知恵はわが国の「国民健康保険発祥の地」として誇りとするものです。

体験塾フル回転 新たな里を創造

その角川の暮らしを体験型の教育プログラムに組み立てようと、2002年に「南部里地探検隊」が発足しました。翌年「角川里の自然環境学校」を設立。農水省農村振興対策コミュニティビジネス推進地域の指

戸沢村・庄内町地域連携フォーラム実行委員会

- | | | | |
|--------|-----------------------|------|-----------------------------|
| 顧問 | 渡部 秀勝 (戸沢村長) | 実行委員 | 柿崎 孝一 (戸沢村地区会長連合会会長) |
| | 原田 眞樹 (庄内町長) | | 佐藤 彰 (庄内町自治会長会会長) |
| | 加藤 文明 (戸沢村議会議長) | | 安食 賢一 (もがみ中央農業協同組合代表理事組合長) |
| | 吉宮 茂 (庄内町議会議長) | | 黒井 徳夫 (庄内たがわ農業協同組合代表理事組合長) |
| 実行委員長 | 田中 優一 (もがみ北部商工会戸沢支部長) | | 森屋 要二 (余目町農業協同組合代表理事組合長) |
| 副実行委員長 | 大滝 正博 (庄内町商工会長) | | 小野 善弘 (公益社団法人新庄青年会議所理事長) |
| 実行委員 | 鈴木 富士雄 (戸沢村観光物産協会会長) | | 佐々木 秀行 (一般社団法人庄内中央青年会議所理事長) |
| | 阿部 武敏 (庄内町観光協会会長) | | |

